

## 復興ビジョンと復興計画について

### (1) 復旧と復興について

東日本大震災および原子力災害により、甚大な被害を受けている南相馬市は、喫緊の課題として、震災前の日常生活を取り戻すための復旧を果たすとともに、単に震災前の水準に戻すだけではなく、従前から南相馬市が抱えていた、生活基盤、産業や医療、教育などの課題解決も含めた、南相馬市がより良いまちとして発展していくための、復興を果たすことが必要と考えています。

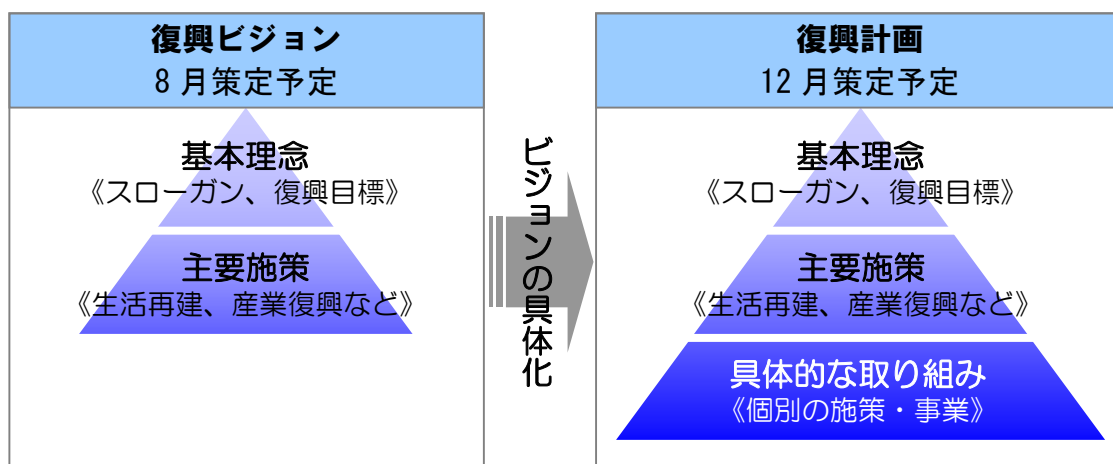
- 復旧とは  
震災によって壊れた施設や機能を従前の姿にもどす
- 復興とは  
震災前と同じ施設、機能にもどすのではなく、被災の結果をふまえて、より良い状態にする。

### (2) 復興ビジョンと復興計画について

南相馬市の復興へ向けては、行政をはじめ、市民・事業者など地域関係者の合意形成のもと、地域が一丸となり、様々な取り組みを進めていくことが求められます。

そのため、南相馬市では、復興へ向けた各種取り組みをとりまとめる『復興ビジョン』と『復興計画』を策定し、個別施策・事業を推進していきます。

#### ■ 復興ビジョンと復興計画に盛り込む内容



## 南相馬市復興ビジョン策定へ向けた論点

### 基本的視点

- 市民の生活を再興する計画づくり
- 新たな発想による経済復興に向けた計画づくり
- 創造的な復興モデルとなる安全・安心なまちづくり
- 市内外のあらゆる人の英知を結集し市民が主役となる復興

### 基本理念（盛り込む内容）

#### 全ての市民が復興へ向けて共有をすべき～強い意思・メッセージ～ 『 ○○○○○○○○○○○○○○○○○をめざすまち 南相馬 』

- 市民が主役となって実現するふるさと（野馬追の里）の再生
  - ・この地を愛し慈しんできた市民が復興の主役となり、「一円融合」の精神に基づき、我がまち南相馬の再生に取り組む。
- 世界中の英知を結集した復興の実現
  - ・地震、津波、そして原子力と、本市に未曾有の被害をもたらした今回の大災害を克服するために、世界の英知を結集して、復興を実現する。
- 原子力災害の克服
  - ・「脱原発」の考えの下、放射能汚染問題の解決を図り、すべての市民が生まれ育った地域に戻れるとともに、放射能による健康不安を解消する研究・医療に積極的に取り組む。
- 環境と共生するまちの創造
  - ・原子力から再生可能エネルギーへの転換を進め、その拠点をめざすとともに、再生可能エネルギー活用による新たな産業創造など、環境にやさしいまちをつくる。
- だれもが住み続けられるまちの再生
  - ・子どもから高齢者まで、すべての市民が安全で安心な環境の下で、健康で生き活きと暮らすことのできるまちをつくる。
- コミュニティ、地域の絆の復活
  - ・市外に避難し、離ればなれになった市民や、仮設住宅等に居住する市民のコミュニティ、地域の絆（至誠）をより深め、住みよいまちをつくる。
- 産業の再生、新たな産業の創造による活力ある社会の実現
  - ・雇用を確保し、市民生活を安定させるために、一刻も早く産業を復旧させるとともに、地域特性を生かした新たな産業を興すことにより、地域の活力を取り戻す。
- 災害に強いまちの創造
  - ・甚大な被害をもたらした今回の災害からの復旧とあわせて、ハード・ソフト両面にわたる災害対策の充実を図り、安全・安心のまちをつくる。
- 未来を拓く子どもたちの育成
  - ・次代を担う子どもたちが、将来への希望を抱き、はつらつと育つ環境を取り戻すとともに、命の尊さやふるさとの大切さを学び、困難に立ち向う強さをもった子どもたちを育てる。
- 子育てしやすい環境の整備
  - ・安全・安心の環境の下で、子育て支援策を充実させるとともに、地域と家庭と学校等が協働して子育てに取り組む。
- 相双地域の中核都市として、周辺都市と連携した復興
  - ・相双地域の中核都市として、周辺都市との連携を図りながら、浜通りの復興も視野に入れた取り組みを進める。

東日本大震災と原子力災害による被災・被害の状況

個別の施策・事業の立案